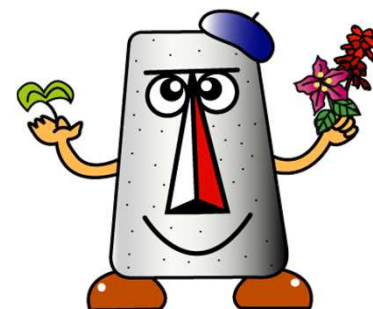


地域生活支援拠点等の整備促進、 必要な機能の強化・充実のための 都道府県ブロック会議

宇部市イメージキャラクター
チョコクン



1 宇部市の概要

1 宇部市の紹介

- ◆ 本州西端の山口県の南西部に位置し、鉄道は山陽本線及び宇部線が東西に走り、高速道路は山陽自動車道が市の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港があり、山口宇部空港も市街地に近い位置にあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。
- ◆ 気候は温暖で、雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候であり、市中央部以北の丘陵地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。
- ◆ また、市内には、第三次救急医療機関である山口大学医学部附属病院をはじめ、数多くの医療施設が立地するとともに、他市と比較して市民一人当たりの病床数や医師等の医療関係資格者も多く、医療環境が充実しています。



2 宇部市の障害者の推移

4月1日現在

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
身体障害者手帳	7,572	7,510	7,416	7,168	7,136
療育手帳	1,362	1,402	1,433	1,459	1,495
精神保健福祉手帳	1,101	1,142	1,162	1,187	1,280
合計	10,035	10,054	10,011	9,814	9,911

うち約55%が高齢者（65歳以上）

3 宇部市の人口・世帯数

登録人口：166,023人（男：79,147人 / 女：86,876人）（平成30年4月1日現在）

世帯数：78,039世帯（平成30年4月1日現在）

4 宇部市の面積

286.65平方キロメートル

2 地域生活支援拠点等の整備プロセス、整備類型、概要

1 整備プロセス

「地域生活支援拠点等整備推進モデル事業」を実施（平成27年度）

- **事業の目的**

障害者の親亡き後などを見据え、親元からの自立と1人暮らしの支援、緊急時の対応など、障害者が地域で安心して暮らせるよう、宇部市の資源を活用した「障害者の地域生活支援拠点」の仕組みの検討を目的に、支援のネットワークの隙間を埋めるための機能を1つの拠点に併せ持ち、既存のサービス等につなぐ役割を担うことによる、「宇部モデル」の支援拠点整備を提案

- **準備委員会**

自立支援協議会委員、各種団体、有識者等 宇部市の「あるべき姿」の提唱

- **意見の集約**

障害者等の実態とニーズに関するアンケート調査 1,500人
障害当事者等団体との意見交換会 7団体
障害福祉サービス事業所等との意見交換会（研修会を含む）10施設

そのほか実態調査の実施

GH（9事業所）、短期入所事業所（8事業所）への個別アンケートの実施
整備に向けた、独自事業の模索・・・予算化へ

実行可能な事業の実施（平成28,29年度）

緊急ショートの推進 対象の拡大へ
相談機能の充実 機能強化へ
情報の収集・発信 ガイドブック作成へ
地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築 多機関の協働による包括的支援体制の構築へ

宇部市障害福祉プラン作成時のアンケートなど
障害者手帳所持者1,000人にアンケート
市民意見交換会 4回開催
障害者団体からの意見聴取 8団体
障害福祉サービス事業所との意見交換会 1回開催 etc

多くの方の声を聴き、
宇部市における課題の
抽出、共通認識の
醸成を図りました



地域生活支援拠点等の整備の承認（平成30年度）

平成30年度の新規事業を実施することで、既存事業も含めた整備の完了

平成30年7月26日開催の宇部市地域自立支援協議会で報告

承認へ（内容は後述のとおり）

2 整備類型

障害児・者の地域生活支援の強化を図ることで、**地域全体で支える**サービス提供体制を構築していくため、地域生活支援拠点等の整備に関し、下記のように設定

面的整備型（複数の機関が分担して機能を担う体制）

3 概要

必要な5つの機能

相談

基幹相談支援センター、委託相談支援事業、特定相談支援事業とともに地域定着支援を活用してコーディネーターを配置し、緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障害特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談等必要な支援を行う機能

緊急時の受け入れ・対応

短期入所を活用した常時の緊急受入体制等を確保した上で、介護者の急病や障害者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能

体験の機会・場

地域移行支援や親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能

専門的人材の確保・養成

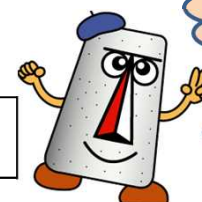
医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対して、専門的な対応の体制確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能

地域の体制づくり

各相談機関など様々な機関と連携できるコーディネーターを配置し、地域のニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能

さらに

～医療機関との連携も含め、
各機能を有機的に組み合わせ地域全体で支援する協力体制を構築～



精神科病床のある6医療
機関等とも連携

3 各必要な機能の具体的な内容

1 相談体制

宇部・小野田圏域障害者相談支援事業

圏域内の障害者等からの相談に応じ、地域における生活を支援することにより、障害者等の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

- (1) **福祉サービスの利用援助**（情報提供、相談等）
- (2) 障害福祉サービスの支給決定に対する助言及び**支援困難事例への対応**
- (3) 各障害種別の専門知識に基づいた技術的援助体制の構築及び推進
- (4) 計画相談事業者の**スキルアップ対応**
- (5) 地域移行・地域定着の促進をはじめとする**地域と連携した取組**
- (6) ピアカウンセリング及び権利擁護のために必要な援助
- (7) 専門機関等社会資源を活用するための助言・指導等の支援
- (8) 緊急ショートステイの**アセスメント**
- (9) **地域生活体験利用の促進と調整**

委託先：
生活支援センターふなき
神原苑障害相談支援センター
宇部市障害者生活支援センターぴあ南風

発達障害等相談センター

発達障害者等の障害のある人及びその疑いのある人とその家族のための相談支援を実施。保護者サポートのほか、障害への理解と、本人の能力を伸ばすための支援ならびに就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援等を行う。

- (1) 発達・生活相談
- (2) 保護者サポート
- (3) 支援者育成
- (4) 普及啓発
- (5) 関係機関との連携
- (6) 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備事業に関すること

委託事業所：
宇部市発達障害等相談センター そらいろ

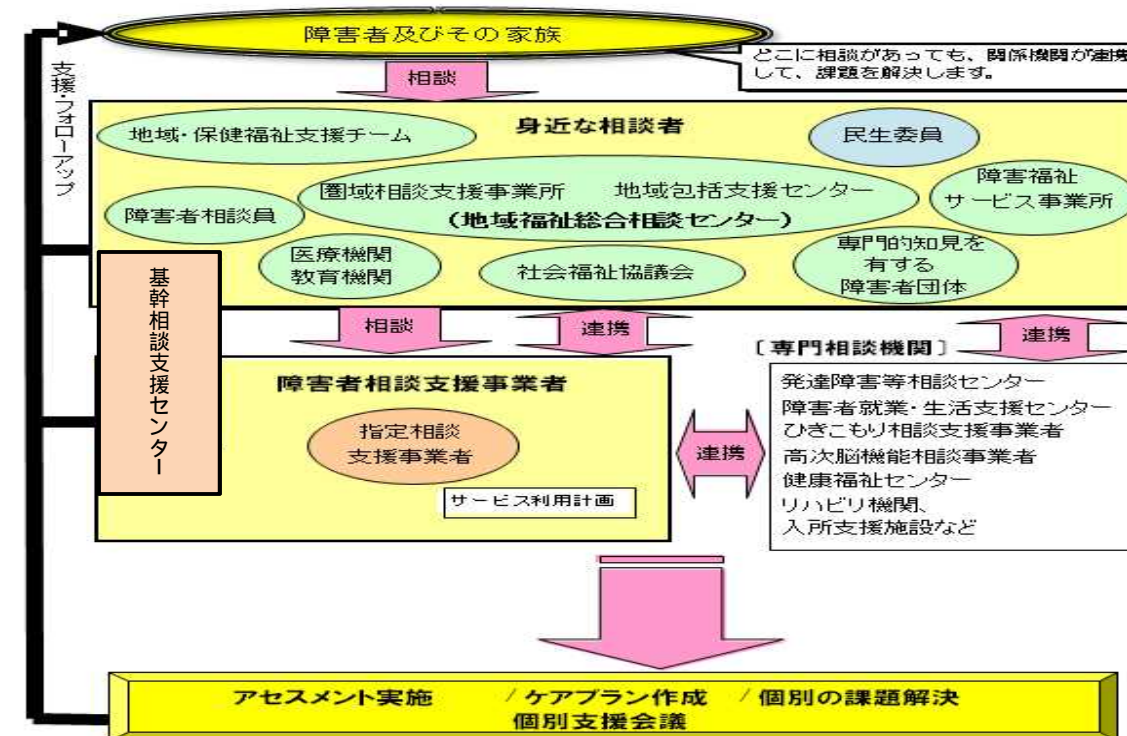
ひきこもり相談支援事業

ひきこもり者への支援体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ることを目的とする。

- (1)ひきこもり相談窓口の設置
- (2)精神科医等スーパーバイザーの確保
- (3)ひきこもり者の訪問（アウトリーチ）
- (4)ひきこもり者への居場所設置
- (5)ひきこもり者への就労準備

委託先：
特定非営利活動法人ふらっとコミュニティ

宇部市の相談支援体制



2 緊急時の受け入れ・対応

障害支援区分のない（日常支援不要）障害者の緊急時の受入体制の整備（緊急ショートの実施）

障害者安心緊急支援事業（緊急ショート）

在宅の障害者（児）が、日常介護を行う者の疾病その他の理由で介護を受けることができなくなるなど緊急に支援が必要となった場合、一時的な施設の利用を提供することによる身体介護及び食事の提供など日常生活に必要な援護を行うことを目的とする。

委託先：
社会福祉法人扶老会（ハイツふなき）

3 体験の機会・場の確保

障害福祉サービスの「体験利用」の活用・周知

地域生活体験事業

親亡き後等に向けた一人暮らしの体験または施設入所及び精神科病院等からの体験利用を希望する障害者（児）に対し、地域生活体験事業を実施することにより、障害者（児）の地域での自立生活への移行を支援することを目的とする。

委託先：
指定特定計画相談支援事業所等

4 専門的人材の確保・養成

宇部志立市民大学に共生社会学部を新設

障害者理解やコミュニケーション支援の方法、配慮のポイントなどを学び、地域等で実践できるコミュニケーションサポーターを養成

地域の体制づくりコミュニケーション支援人材育成助成金の創設

障害のある人へコミュニケーション支援を行う人材の確保及び育成を目的として、コミュニケーション支援に関する専門的知識を身につけるための資格取得等に要する費用の一部を助成（手話通訳士、手話通訳者、要約筆記者、同行援護者、職場適応援助者（ジョブコーチ））

5 地域の体制づくり

地域自立支援協議会での地域課題の検討・合同ネットワーク会議や宇部市障害者就労支援ネットワーク会議など各種会議における地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながっていくことで地域をともに創っていくための支援ネットワーク体制を構築

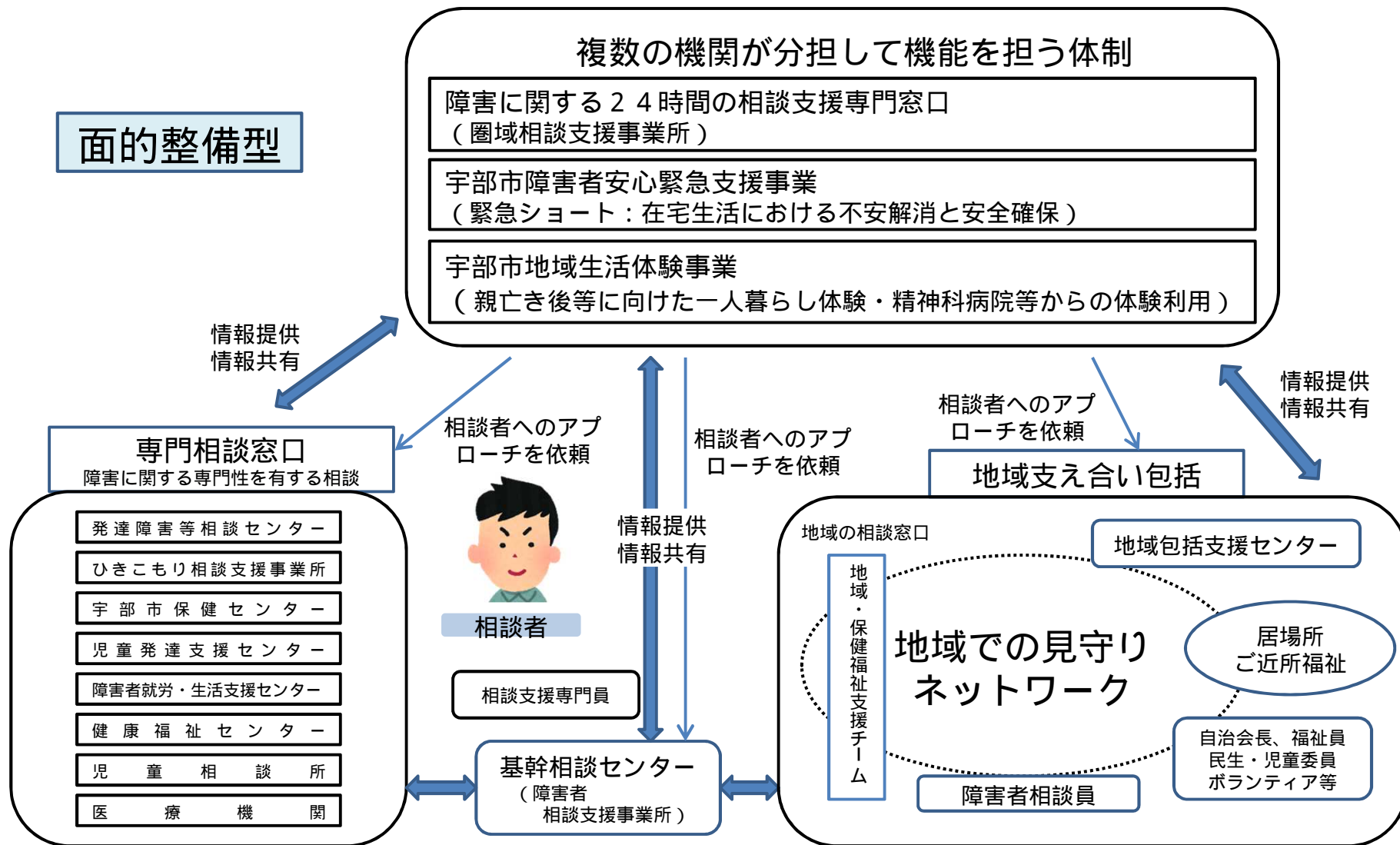
支援ネットワーク体制を構築（それぞれの機関・会議の連携）

山口県地域生活移行推進会議
合同ネットワーク会議
宇部市障害者就労支援ネットワーク会議
宇部市障害者ケア協議会
支援者会議

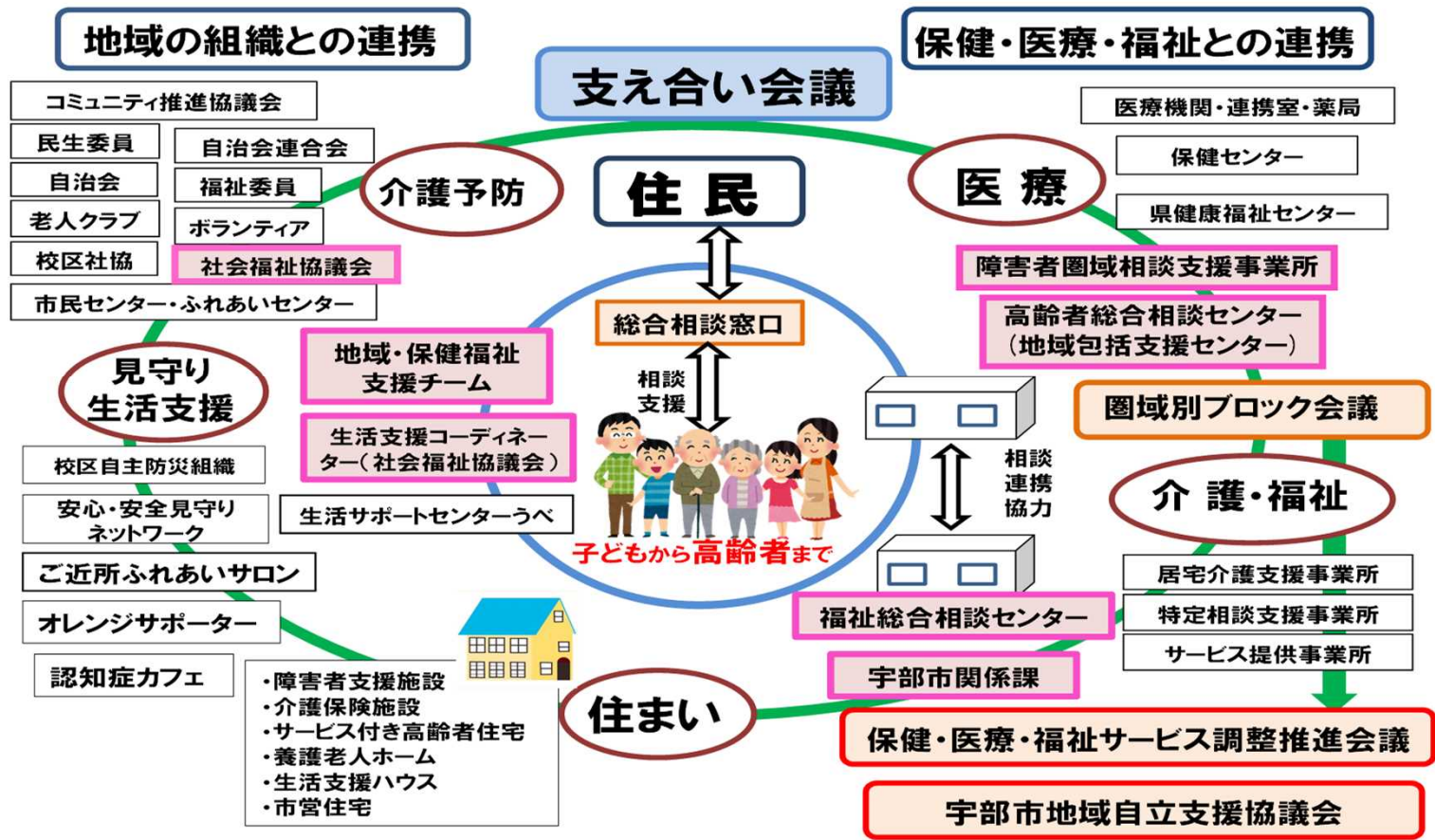
etc

4 地域生活支援拠点等のイメージ図

面的整備型



宇部市の目指す地域支え合い包括ケアシステム



5 地域生活支援拠点等における支援の事例

1 相談体制

支援のつながり、連携、引き継ぎ及びフォロー 勉強会（レベルアップ）、介護への移行の連携（介護保険の会議への参加、障害の会議への参加）

地域の課題の整理 4つの課題の解決に向けての取り組み

- 1 就労サービスについて
就労サービスの見極め、相談支援との連携、就労事業所の情報、事業所ハンドブックの作成
- 2 精神科病院からの地域移行
精神科病院について、地域移行サービスの対応事業所について、施設体験等について
- 3 障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行
介護保険の制度理解について
- 4 親亡き後の課題
地域生活について

2 緊急ショート

区分を持っていない人、DVの恐れのある場合の保護

- 1 AP退去命令後、救護施設等利用前で、入居が決まるまでの利用
- 2 夫からの暴力があるが、シェルターが利用できない場合の緊急避難
- 3 母親が急死し、離婚した父親が見ていたが、限界ということで利用

3 体験の機会・場の確保

精神病院からの生活能力の見極めとしての活用、民間AP居住前の環境整備としての活用について問合せ、8050問題など親亡き後の生活の訓練としての利用の検討

4 専門的人材の確保・養成

障害者支援にかかわる人に向けたバリアフリーに関する講演会を開催
宇部志立市民大学に新たに「共生社会学部」を設置
コミュニケーション支援人材育成事業

5 地域の体制づくり

障害者が社会生活を営む上で最も大事な要素の一つ・・・
就労についての会議との連携

宇部市障害者就労支援ネットワーク会議

就労支援ワーキングチーム

企業等に対する障害者雇用への理解等により、障害者の就労の場を広げる活動を実施

移行支援ワーキングチーム

障害者及び家族の就労に対する意欲向上、就労系障害福祉サービス事業所職員の就労支援のスキルアップ等を実施

継続支援ワーキングチーム

障害のある人の働く場の充実・活性化と所得の引き上げを目的に活動を実施

6 地域生活支援拠点等の整備・運営における 今後の課題・方針

1 今後の課題

拠点のことをご存じない人が多く、5つの機能について知らない
拠点の推進方法についての情報不足及び支援者の人員不足
障害福祉サービスにおける地域生活支援拠点の役割（機能）が未確立で周知不足
障害福祉サービス対応外の支援のあり方の整理が不十分

2 方針（方向性）

- **地域生活支援拠点の周知**

5つの機能について市民及び支援者、事業所へ理解・周知

- **障害福祉サービスとの連動**

日常生活を支援する「障害福祉サービス」における地域生活支援拠点の役割を明確化し、サービス提供の充実を図る

推進方法の決定・加算の認定・対象事業の選定・体制の確保

